第３回　鹿角高等学校魅力化ビジョン策定ワークショップ

別紙　全体総括・各グループ意見まとめ

全体 総括	第 3 回鹿角高等学校魅力化ビジョン策定ワークショップは、鹿角高校の教員を対象に実施した。 参加者は、業務都合により参加できなくなった第 1 グループを除く、第 2 グループから第 12 グループまでの 11 グループに分かれ、以下の 3 つのテーマで意見を出し合った。 **１．「やってみたい・できそう」と思うこと** **２．「学校でできること」** **３．「学校だけでは難しいこと」** グループごとに重点の置き方は異なるものの、全体としては、**生徒が主体となり、地域全体を学びの場として、鹿角ならではの特色ある教育を実現することへの期待**が共有されるとともに、学校でできることと、連携・協力が必要なことが整理されていた。
各グループの特徴	
１	**〇参加なし**
２	**〇探究活動の地域展開、生徒主体の情報発信、教育課程の充実** 地域連携によって探究活動を充実させるだけでなく、教員の負担軽減も図ろうとする視点。カリキュラム編成には県教育委員会、通学には交通事業者、給食には市や給食センターなど、課題ごとに必要な連携先が示された。
３	**〇地域企業等との連携、学校活動の公開、実践的な体験機会の拡大** 地域連携によって生徒のモチベーションを高めようとする考えが基調となっている。一方で、資金、安全管理、移動手段、協力先の受入体制、広報上のリスク対応など、実施段階で必要となる条件についても幅広く指摘。
４	**〇進路に結び付く活動、地域性を生かした特色づくり** 既存の学校活動を改善するだけでなく、外部からも分かりやすい「唯一無二の特色」をつくることへの関心が強い。実現に当たっては、経費、移動手段、市と高校の連絡調整、インターンシップ先の確保などが課題として挙げられた。
５	**〇地域企業と連携した実践的なキャリア教育、教育内容・実績の発信、通学・生活環境の改善**

	生徒の進路選択につながる実践的な学びを充実させることと、市内外から生徒が通いやすく学びやすい環境を整えることの両面から、選ばれる学校づくりを重視。
６	**〇情報発信の改善、地域でのフィールドワーク、時代に合った見直し** 新しい活動を増やすだけでなく、起案や依頼文書などの校内手続を簡素化し、実行しやすい仕組みに変える視点が特徴的である。また、生徒自身にインターンシップ先との交渉や調整を担わせることで、主体性や勤労観を育てることを意。
７	**〇生徒主体の学校運営、地域人材の活用、国内外との交流** 生徒に一定の権限と責任を持たせることで、学校生活への当事者意識を高めようとする考え。学校外との連携に関しては、行政支援に加え、継続的に調整を担うコーディネーターの必要性を指摘。
８	**〇教員の時間確保、学校活動の地域発信、学校施設や教育資源の地域開放** 魅力化を進めるための前提として、教職員が生徒と接する時間を確保する必要性が明確に示されている。また、産業工学科の専門性を地域へ還元するなど、学校が持つ資源を地域に開く発想。
９	**〇校則の見直し、地域行事への主体的参加、学校全体で取り組むプロジェクト化** 地域連携を支えるコーディネーター、部活動指導者、施設整備、奨学金、移動手段など、継続のための基盤整備を重視する意見。
１０	**〇外部への PR 強化、地域との連携、探究活動の高度化** 学校内に取組や成果があっても、外部に十分伝わっていないという問題意識から、発信の強化に加え、外部大会への出展などによって探究活動の質と社会的評価を高める方向性の意見。
１１	**〇産業工学科の強化、生徒会の主体性向上、地域文化と学校活動の接続** 鹿角高校の特色として、産業工学科を明確に打ち出す考え。校則については、単なる緩和ではなく、規則の目的や生徒を守る意味を確認しながら対話的に見直すべきという姿勢。
１２	**〇校則への生徒意見の反映、地域と連携した職業体験、進路・部活動に応じたコース編成** 選ばれる高校という観点と、在校生や保護者の声を生かす観点が結び付けられている。地域連携に枠組みを設けて継続的に実施しようとする考えが特徴的。
その他	各グループの意見詳細は次ページ以降参照 ※スペースの都合上、文言調整及び似た内容の意見を集約している場合あり

第2グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	探究活動　地域を巻きこんで行う	地域の要望 教師負担減
②	HP の作成　生徒に任せる、関わる	生徒目線のアイデア
③		

【その他個人意見】
探究活動(外部に任せる)・校則や学校行事を生徒に考えさせる(生徒中心の生徒会)・生徒の関心を授業に組み込む・HP の充実・食堂・総探の発表会を外部で実施・体育コース・整容指導なし・部活動再編成

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	コース、カリキュラム編成	魅力的な選択科目増やす(スキーなど体育系)
②	選択制給食	昼の時間を長く 場所(セミナー)の提供
③		

【その他個人意見】

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	通学支援	秋北バス、JR
②	給食	地域の給食センター(市)との協力
③		

【その他個人意見】
カリキュラムとか(県教委の協力)・探究の発表(コモッセ等の場所借り、地域の人の参加)・地域の企業とコラボ・地産地消型食堂・総探(社会人講師)

第3グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	地域連携(企業)	生徒のモチベーションが上がる。
②		
③		

【その他個人意見】
企業だけでなく個人で活躍している方のアドバイスや活動を幅広く取り上げたい・鹿角、小坂地域の行事などに参加・校外活動(課題研究だけでなく、もっと他の生徒にも手掛けさせたい)・校則を考えさせる・購買・学校通信的なものをコモッセとかに置く、貼る

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	学校行事の公開	安全面の確保
②		
③		

【その他個人意見】
地元の食材を使ったお菓子を考える(家庭科)・総探で調べる・評定・ボランティア・評定、進学への共通理解・場所の確保(パン・食堂・プール・購買など)・人材の提供・SNS での情報発信

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	お金(資金調達)	
②		
③		

【その他個人意見】
プロの方(パティシエ)とのコラボ・現場の声が欲しい・移動を伴う行事、作業・安全面(熊など)・地域との協同作業・宿(下宿)・食材調達・企業誘致(パン・食堂・プール・購買)・受け入れ体制(企業・団体・機会・お金)・安全な情報発信、クレーム対応(スクールロイヤーいてほしい)

第4グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	有名人を活用する(文化祭等にきてもらう)	
②	情報を活用(ゲーム・SNS)実生活とつなげる	
③	進路に活かせる活動	

【その他個人意見】
進路未定三割の確保(中学・高校交流を増やせば)・新しい部活を作る・週 1 の地域探究・情報の時間にゲーム・

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	地域留学(スキー教室)	
②	教科横断的な授業を行う	
③		

【その他個人意見】
唯一無二の何かを作る(秋田県、東北一を作る)・生徒と一緒に何かを行う・生徒の希望を聞く・教員の得意分野の探究活動(かづの学)

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	教科	
②	経費・移動手段	
③		

【その他個人意見】
中高生交流イベント・行事(インフルエンサーもついでに呼ぶ)・郊外活動を地域住民と行う・インターンシップ先の選定、拡大・市と高校の連絡を簡易に行う・かづの学・

第5グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	温水プール	
②	有名人(インフルエンサー)	
③		

【その他個人意見】
校則を自分たちで決めたい(生徒たちが社会で求められる姿について調べ、きちんと考えたうえで決めてみたらよい。ただ自分たちの「したい」という欲求ではなく)・新しい部活が欲しい・小さな水族館(生物部とかがあれば活動の一環として管理できる)・地域への発信・情報(日本史)の授業でゲーム・

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	地域企業と長期インターンシップ	地元企業
②	地域未来コースがあいまい	学校
③		

【その他個人意見】
進路に合わせたコース、科目設定・HP、Instagram 等で活動内容、実績発信・先生たちが学校に行く・生徒のボランティア・学校の知識、技術(産業工学科の技術等)を市民に出す・地域ガイド・スクールバスをもっと増やす(本数・ルート)・探究を地域の人々に指導・学校祭に地域の人、企業に入ってもらう・

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	特待生制度(部活・勉強)	お金(市)
②		
③		

【その他個人意見】
スクールバスの充実(通いやすい学校に)・下宿の充実(ほかの部の子たちも遠くから来てくれるかも)・冬季だけの宿泊施設・学食の運営・キャリア教育・実践的活動・国際交流(コーディネーター、国際交流員)・学校祭(お客、地域住民)

第6グループ(3 人)

問１ グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	インスタや SNS で情報発信しているが認知度が低いので、リアルタイムで生徒・地域の人が楽しく見れるものにする→起案を簡略化	活動がうまく伝わっていないから
②	地域にフィールドワークに行く→文書なしで電話で依頼完了	活動が地域の人に認知されるから
③		

【その他個人意見】
情報の時間にタイピングゲーム・

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	部活動の見直しを何年かに１回 教員数も考慮する	時代にあったものを考えられるため →生徒・保護者・地域にアンケート
②		
③		

【その他個人意見】

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	インターンシップ先を自分で見つける 本当にやりたいものを真剣に考え、自分で調整することで、力がつく。→働くことで勤労観も身につく	市役所・企業に周知 →先生方は調整しない
②	SNS を見せやすい、興味の引くものにする →若い人をターゲットにする	作るのが得意な人、インフルエンサーなどに協力してもらう
③		

【その他個人意見】
地域課題の解決（解決してほしい課題を挙げてもらう・生徒が総探で研究・地域でフィールドワーク→発表提案）・鹿角高校ニュース（きりたんぽ FM）・地域の祭典への参加協力・通学を便利に（バス・電車）・購買

第7グループ(4 人)

問１ グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	校則→生徒に決めさせる ⇒カジュアル DAY(私服登校)	必要の声が多い
②	地域の人材を活用した交流・学び	地域交流にもつながる
③	留学生を呼ぼう	グローバル化

【その他個人意見】
生徒主体にすべて動かす・e スポーツ部つくろう・SNS、HP・新しい部活・有名人(イベント)・市の HP に高校 HP、活動のリンク・小中学生との交流・市の広報に学校のページを設けてもらう

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	校則・ルール関係を変える 〇〇DAY をつくる	教員の気持ちがあれば
②	情報発信(学校行事など)	教員に時間があれば ※生徒にやらせるようにすれば
③		

【その他個人意見】
学びの選択の幅を広げる(時間確保)・新しい部活・ものづくり・探究活動(枠組み)

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	交換留学制度の確立 (海外・県外)	行政の支援
②		
③		

【その他個人意見】
地域と連携した探究活動・鹿角の知名度を上げるためにイベント開催、広報、SNS、ラジオを使っての PR・コモッセ以外に生徒が集まることができる場所・部活動の中高連携・スクールバス・下宿(県外)・外部との連携(地域で先生になってくる存在、コーディネーター的存在)・部活動

指導員・農業学科（コース）の設置・中高の交流日を設けてくれると入学者 UP・小中の保護者の関心を集める・ものづくりボランティアの呼びかけ（ものをつくる、直したくても物がない）・小中との交流事業・新しい部を設立するならば顧問を地域移行で・交通費の補助（タダ）・

第8グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	教員の時間の確保	生徒・地域と関係をもつ時間が必要
②	学校の情報発信	知ってもらう
③	地域開放	

【その他個人意見】
校則を考えさせる・総探だったらゲームとかイベントできるのでは(工業科でやっています)・保育園、幼稚園、小学校、中学校交流会・定期考査をなくす(観点別評価がある)・プログラミング学習の中でゲームを作る・定例職員会議を廃止する

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	出前授業	工業科
②	学校の行事発信	FM ラジオ
③	行事の共同開催	地域の人との連携

【その他個人意見】
生徒が安心して活動できる環境づくり・主な教育活動(授業など)⇒大学入試対策？

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	校内コンビニ(一般の人も入れるように)	運営してくれる人
②	学校行事の発信 (地元ラジオ局に番組をもち、生徒先生が出演)	地元ラジオ局
③	行事の共同開催(鹿フェス・運動会など)	地域の協力

【その他個人意見】
地域交流(地域の伝統、魅力を伝える)・小学校などで出前授業をする(ロボットの操作体験や電機系の実験など(先生の負担が増えますが))・花輪地区以外での出張授業、講座・有名人を呼んで講演会(生徒、地域含めて)・資格取得の取り組み・熊対策

第9グループ(4 人)

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	校則(部分的。服装・頭髪、スマホ) ルールについて考えさせる(社会通念) 生徒目線・保護者目線	
②	祭り、ボランティア	
③		

【その他個人意見】
校則は一度ゼロベースにしてもよい“ゼロ校則”(社会的にダメなものはその都度指導。その後ガイドライン化できるものはそうする。式典参加時の整容など)・なんでもやってみればいいと思うが、生徒の声が第三者的な響きがあるので、動けるようにしたい・有名な人に鹿角高校を知ってもらう・外部の様々な人に協力してもらい連携を強める・地域の行事に主体的に参加する(祭りやボランティア)・秋田住みます芸人の鹿角版・授業におけるゲーム体験・施設の刷新(クラウドファンディング)

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	プロジェクト(生徒及び生徒会を巻きこんだ学校全体の)	
②	コーディネーター	
③	特色(部活・地域・工業)	

【その他個人意見】
探究の時間の充実化(2 コマ or6 コマ連続)・地域とかかわる事業のデータベース化(週に１回は地域に預ける)・進学・就職(秋工や秋商みたいな)・大学プラス地元・個々に応じた進路指導と実績づくり・特色選抜の出願の条件を柔軟に(一芸に秀でた)・新しい部活動の発足・地域の行事における生徒の派遣・購買等の設置検討

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	指導者(部活)	
②	奨学金	
③	施設	県

【その他個人意見】
SNS の充実化・祭り、地域行事への参加・伝統芸能の継承・学校の存続（資金面、人材面など）・
学校に食堂を設置・給食・移動手段の確保（大館→鹿角　バス・列車の数が限定化）

第10グループ（3 人）

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと（1～3つ）		
	内容	どうしてそう思う？
①	外部への発信・PR （HP、SNS、youtube、広報など）	認知度が低い 発信力不足
②	地域との連携、活動 （移住者、地域で一日活動など）	地域の関心をもってもらう
③		

【その他個人意見】
校則を自分たちで考える・制服自由の日を作る・学校祭を外部で行う（道の駅とか）・スキー授業・e スポーツ、国際交流、ものづくり活動・生徒会が市役所、地域にアピール（やろうとしたが広がらなかった）・デジ探でホームページつくる、運営・地域移住者とワークショップ（一応デジ探の中で実施済み）・テレビ番組やメディアとの協力（「あたらしいカギ」に生徒会で申し込んだことアリ）・鹿角市、小坂町の広報に「学校だより」を毎月はさんで生徒の活躍を紹介する・テーマ研究の発表会に地域の人々を招待する・

問2 「学校でできること」（1～3つ）		
	内容	誰・何があれば？
①	広報（校報）・HP の充実 生徒が作るのもあり	市広報に入れるなど 生徒が作る HP など
②	進学指導	就職率・進学率 UP →魅力度 UP
③	授業改善・行事	

【その他個人意見】
部活動指導・探究（でかいところに出す。SDGs探究 AWARD とか）

問3 「学校だけでは難しいこと」（1～3つ）		
	内容	誰・何があれば？
①	「探究」の在り方	継続的指導の必要性 大きな探究の大会に出す（地域と共同して）
②	地域に出向いてボランティア（産業工学科）	
③	カネ	県だけでなく国にも

【その他個人意見】
外部との連携、専門家の依頼など・地元クラブ、NPO（実技指導）・人材、資源は潤沢に手に入れられれば…・外部で学校行事はできる？・いい仕事あっせん、誘致・地域課題解決の探究を連名で発表

第11グループ(4 人)

問１ グループで「やってみたい・できそう」と思うこと(1～3つ)		
	内容	どうしてそう思う？
①	産業工学科の設備の充実	唯一の工業科をアピール
②	e スポーツ	
③		

【その他個人意見】
除雪ボランティアを各地域で実施・校則を生徒と教員とで話し合う・地元の文化を学ぶツアーを実施・LHR での生徒同士の話し合い・校則に関しては生徒だけでなく教師側も疑問を抱きながら指導している面もある。なぜあるのか、守ることで生徒は何から守られているのかを明確に理解して、緩くしたいを先行しないで考えられたら考える価値はある・授業中にゲームは学ぶ目的からずれないことが前提。ただあまりに堅苦しい授業ばかりだと生徒が楽しむ心を持たないからよくない。①楽しむ②なぜ？③言語化・カリキュラムの見直し〇・有名人が来る前に学校からの発信(SNS 等)が必要・ゲーム(ゲーム感覚)の授業(体育ではもちろん)→自分たちでルールを決めたり調整する機会を与える・

問2 「学校でできること」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	生徒会の独立化 SNS 等の活用	生徒会活動
②		
③		

【その他個人意見】
校則について話し合う(生徒・教員・保護者)・カリキュラム・部活動(雀卓の設置 e スポーツ)・制服・購買・秋田、地元の人材紹介(大学で「秋田の観光と資源」という講義あった)・学校報？・ボランティア協力→地域の魅力化アップにつながるものをメインに・HP をちゃんと整備しよう・今あるインスタをもっと動かそう(生徒が投稿してもいいと思う)・行事をもっとオープンにする・ゲーミング PC 買って e スポーツ部つくる。E スポーツは体力勝負です・

問3 「学校だけでは難しいこと」(1～3つ)		
	内容	誰・何があれば？
①	地域見学ツアーの実施	生徒・教員向け
②	熊対策・バスの本数を増やす	生徒
③	広報活動・学校のチラシを作る	

【その他個人意見】
産業工学科設備の不足・プール（地域の資源を活用）・校則改変（見た目が変わったときの地域の目→理解が必要→学校報などでの周知）・SNS での有名人呼ぶ・産業工学科への機械提供？・カメムシの駆除・花輪ばやしに生徒を参加させる・工場を借りる・お金が欲しい・広報に鹿角高校コーナーつくる

第12グループ（3 人）

問１　グループで「やってみたい・できそう」と思うこと（1～3つ）		
	内容	どうしてそう思う？
①	校則の見直し	中学生が魅力に思う 生徒の声の反映はできそう
②	地域と連携しての職業体験	未来創造コースの生徒が必要としている
③		

【その他個人意見】
1～6「地域共創 DAY」→職業について体験する機会がたくさんあるとよい・生徒発信のイベント、地域のフィールドワーク・学校行事（学校祭）にもっと生徒の声を取り入れる。企画の可能、不可能から共に考える・

問2 「学校でできること」（1～3つ）		
	内容	誰・何があれば？
①	校則の見直し、生徒の声をひろう	
②	進学に特化したコース・部活動に特化したコースを作る →選択科目の見直し	
③		

【その他個人意見】
部活動強化の時間を増やす・教育課程の見直し（体育・スポーツ科目を増やす）・

問3 「学校だけでは難しいこと」（1～3つ）		
	内容	誰・何があれば？
①	地域と連携しての体験	専門的知識がある人 ゲームやるにしても対戦相手になる学校など
②		
③		

【その他個人意見】
やりたいことをやるためのお金・地域共創 DAY→地域の事業所・部活動地域移行との協力・学食つくる